

ポーレックスセラミック お茶ミルの使用方法

お茶の葉を入れる

お茶の葉約8g挽くことができます。
茎茶、お茶の葉に混ざった茎の部分は挽くことができません。
湿り気のあるお茶の葉は、刃の目詰まりの原因になります。
よく乾燥したお茶の葉をお使いください。



- ・キャップを外し、本体にお好みの量のお茶の葉を入れ、キャップをします。
- ・キャップは、はめ込み式ですので、ひねりながら抜き差しすると簡単です。

粒度を調節する

- ・受け容器を外し、調節ネジを緩める(左回転)と粗く、締める(右回転)と細かく挽くことができます。
- ・調節ネジは締めすぎないでください。
- ・調節ネジは外れますので、失くさないようご注意ください。



挽く

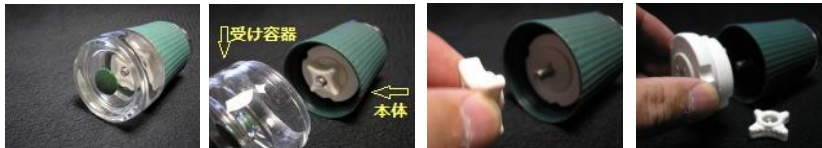


- ・受け容器を本体にセットします。
- ・ハンドルをシャフトの奥までしっかりと
はめ込み本体とハンドルを持ち、
ハンドルを時計回りに回すとお茶の葉
が挽かれ、受け容器に粉が落ちます。
- ・ハンドルを水平に持ち、軽く下に押さえながら
ゆっくりと挽いてください。
(ハンドルの穴の摩耗を防ぐため)



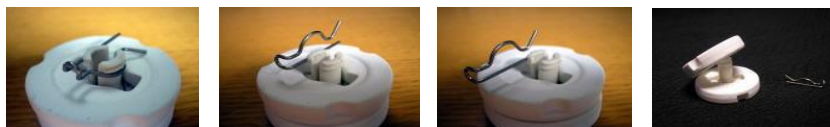
- ・挽いたお茶は受け容器に落ちます。
- ・シリコン製の底栓を外し、そのままペットボトル等注ぎ口の狭い容器に入れることもできます。

本体の分解

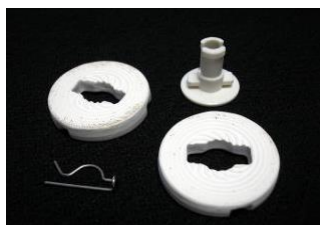


- ・受け容器を外します。
- ・調節ネジを外します。
- ・セラミック刃を外します。
(反時計回り)

セラミック刃の分解



- ・ピンを立てます。
- ・ピンを抜きます。
- ・セラミック刃を取り外します。



- ・セラミック刃(2枚)
- ・内刃ベース
- ・ピン
- ・部品4点に分解できます。



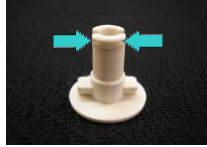
組立方法



・2枚のセラミック刃の細かいすじの入った面同士を合わせ、内刃ベースに通します。



・内刃ベースの片側2カ所の穴に攪拌ピンを中央まで差し込みます。



・矢印で示している部分が外側になるように差し込んでください。



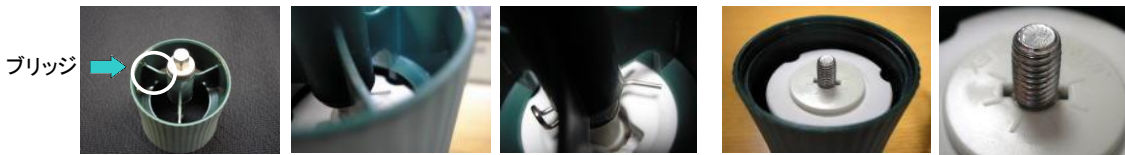
・ピンを倒し、半円形部分を溝に合わせます。



・攪拌ピンを差し込んだ面を上にし、内刃ベースをつけたセラミック刃を下からシャフトに通します。組立ての際は、キャップを外されることをおすすめします。



・セラミック刃回り止め(刃の外側にある3カ所の半円状の溝)と本体回り止め(本体内部の3カ所の突起)に合わせて入れます



ブリッジ
・写真のように上からセラミック刃、本体の回り止めが見える位置で確認し、本体とセラミック刃の間に隙間が無いように密着させます。
・本体回り止めは、ブリッジの真下にあるのでセラミック刃回り止めをブリッジに合わせて簡単です。

・反転させ、セラミック刃が本体にしっかりと入ったことを確認します。
・回り止めがきちんと入っているとネジ部分が1cm程度出ます。

・下の写真のようになっている場合は、セットしなおしてください。
・セラミック刃がきちんとはまりこんでいない状態で挽くと、空回りして破損の原因となります。
・しっかりとネジの溝部分の最後が見えるまでセラミック刃を入れてください。



・回り止めが3カ所とも入っていません。



・回り止めが一部入っていないため、刃が平行ではなく斜めになっています。



・調節ネジの向きに気を付けて調節ネジをシャフトに通して締めます。リング状の出っ張りのある面を先にシャフトに入れ、内刃ベースへあたるようにセットしてください。

お手入れ

・ポーレックスセラミックお茶ミルは分解掃除をすることができます。いつまでも気持ちよくお使いいただくために、ご使用後のお手入れをおすすめします。

・ご使用後は、分解してセラミック刃は歯ブラシ等小さなブラシで、その他部品は柔らかいスポンジを使って水洗いをおすすめします。

※水洗い後は、よく乾燥させてからご使用ください。

※傷の原因になりますので、クレンザーや金属たわしでの洗浄はおやめください。

※煮沸消毒はおやめください。

※食器洗い乾燥機や電子レンジのご使用はおやめください。